



和田内 和美 議員
(無会派)



一般質問

■復興公営住宅の建設について

整備地域選定において、十分な考慮を！

質 避難生活の長期化に伴い、一日も早い恒久住宅への移行が切実に望まれている。整備地域の選定に当たっては、被災者の生活圏や交通の利便性、医療、福祉施設の近接性等を十分に考慮すべきものと考え、現時点での整備計画と市としての基本方針について伺う。

答 復興公営住宅の整備予定地域については、入居希望者にアンケートを行っており、入居したい地区についても質問している。その調査内容を踏まえ、具体的に建設する場所については、安全性や利便性、交通の便や買物、病院の位置などに十分に配慮し、建設場所を決定している。

整備スケジュールについては、現在は市有地である小丸山市営住宅の跡地、旧田鶴浜保育園、旧中島中学校跡地、中島コミュニティセンター熊木分館のグラウンド、能登島定住促進住宅の横に整備を進めており、これらの住宅の入居期間は、小丸山団地は令和8年8月頃、旧田鶴浜保育園、中島コミュニティセンター熊木分館は令和9年3月頃、旧中島中学校、能登島定住促進住宅横は令和9年6月頃を予定している。その他の地域については、民有地など地域と協力しながら整備場所を検討し、全ての復興公営住宅を令和10年4月頃の入居を目指して整備したいと考えている。



佐藤 喜典 議員
(市民クラブ)



一般質問

■公立能登総合病院・看護師について

質 看護師の人手不足が深刻化している中で、次の3点伺う。
①看護師不足の現状と今後の見通しについて
②看護師不足を解消するため働きやすい環境を整えることについて
③看護師不足が影響して起き得る問題について

答 ①正規職員314人、会計年度任用職員31人、計345人の看護師が在職し、昨年度の離職者は、結婚による転居など6人で離職率は1.9%、全国平均の11.3%の半分以下となっている。今後の採用の見通しについて懸念はあるが、令和8年度の第1回採用試験で、募集人員15人程度には満たなかったものの相当数受験していただいた。

②働きやすい環境を整え、職員の満足度やモチベーションを高めることが離職防止につながると考え、育児支援として男性職員を含めた育児休暇の取得推進、各病棟などをローテーションする新人看護師臨床研修、能登北部病院の新人看護師も含めた合同実習などを実施している。その効果もあつてか新人看護師の離職者はここ数年一人もいない状況である。

③仮に当院で看護師不足が生じると、病棟の勤務体制の確保が難しくなり、入院の受け入れが制限されるなど非常事態に陥る可能性があり、住民の安心した暮らしを支えるセーフティネットが維持できなくなるのが想定されるため、実習生の受け入れ、看護養成施設への訪問、就学資金の貸与や就職セミナーの参加等により看護師を確保するとともに、魅力ある職場づくりを推進し、安定した病院経営に努めていきたいと考えている。